

笑顔であいさつ心豊かな紫原

第2期

(令和4年度～令和8年度・2022年度～2026年度)

まちづくりプラン



紫原校区まちづくり協議会

所在地 〒890-0082 鹿児島市紫原二丁目36番50号

(紫原小学校内 校区公民館1階)

電話 099(296)1676 FAX 099(296)1679

E-mail murasakibaru-com@song.ocn.ne.jp

目 次

I	紫原校区周辺のすがた	
1	校区の概要	1
2	校区の人口推移	1
3	校区周辺の地図・主な施設等	2
4	校区の風景（活動の様子）	3
II	第1期のふりかえり（平成29年度～令和3年度）	4
1	第1期目標の成果と課題	
2	各部会事業の反省・評価	
III	第2期まちづくりプラン	
1	協議会の活動方針	8
	(1) 計画の期間	
	(2) まちづくりの目標	
	① スローガン	
	② 運営方針	
	③ まちづくり協議会組織	
2	活動の体系表	9
3	紫原校区まちづくりプラン（振興計画）	10
IV	資料	
1	第2期まちづくりプラン策定委員	18
2	住民意識調査結果	19

I 紫原校区周辺のすがた

1 校区の概要

紫原校区は、鹿児島市の中心街から南西方向約5kmに位置する標高70m～100mの台地で、開発前は農耕地として整備された「アルコール原料カンショ育種試験地」が設けられ、畑と原野が広がっていた。

昭和32年に42世帯が紫原陸橋近くに入居して始まった当時は、宅地造成等規制法もなく、区画整理事業で道路を通し、鹿児島市内で最初に開発された住宅団地で、現在、人口約22,500人が住む団地に発展した。

東に桜島の雄姿、南に大隅半島を望むことができ、街路樹の桜並木や公園の桜が見事で、桜の名所として有名である。また、道路網の整備に伴い、東西（紫原陸橋から西紫原、宇宿へ通じる大通り）と南北（狐ヶ迫「通称日之出」陸橋から田上台、前ヶ迫への大通り）の幹線道路が団地の中央で交わり、さらに、平成24年高麗通線（中郡陸橋から宇宿、桜ヶ丘への大通り）が開通し、今まで以上に交通が便利になり、市街地への行き来の便利さや商店・病院なども多く、暮らしやすい。

団地及びその周辺には、公立の小学校3校、中学校2校と私立の中高一貫校2校、さらに、大学と短期大学があり、教育面でも充実した学園団地となっている。

校区は、紫原一丁目、二丁目、六丁目、南新町と唐湊の一部に広がっている。校区には町内会（連合町内会加入20、未加入2）、あいご会、社会福祉協議会、高齢者クラブ（6団体）などがあり、各種団体組織等の活動も盛んである。

2 校区の人口推移

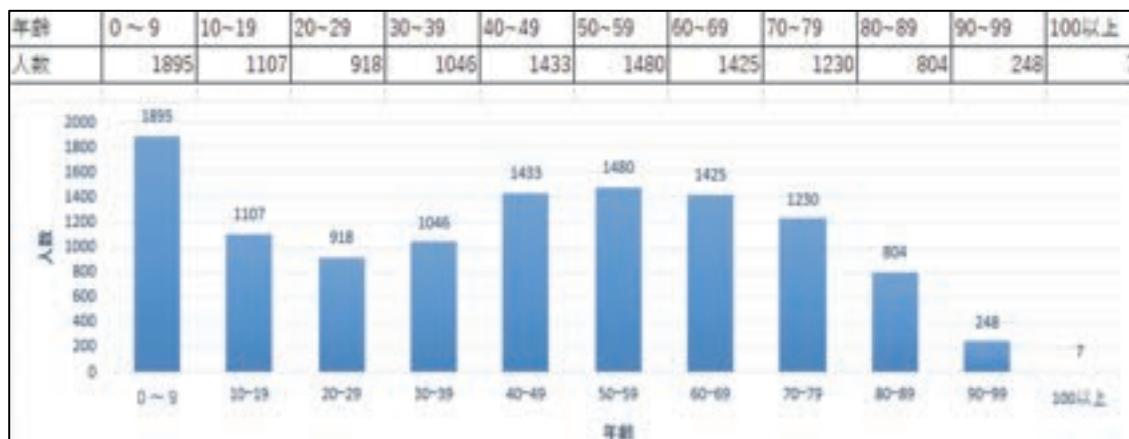
(1) 紫原小学校区世帯数・男女別人口推移(国勢調査)◆校区の境界線は国勢調査の調査区に基づく。

紫原小学校区世帯数・男女別人口（国勢調査）

年度	世帯数	人口		
		総数	男	女
平成17年	5,427	12,995	6,018	6,977
平成22年	5,472	12,409	5,982	6,427
平成27年	6,035	12,165	5,682	6,483
令和2年	5,475	11,392	5,295	6,097

(2) 令和3年度住民基本台帳年齢別人口（10歳階級）

※令和3年4月1日現在



※一部地域を除く。

3 校区周辺の地図・主な施設等

町内会（市に現況届を提出している町内会）

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| ◎紫原第一住宅会 | ◎みどり会 | ◎一本桜会 |
| ◎紫峰会 | ◎紫原中央会 | ◎千草会 |
| ◎紫原親睦会 | ◎和光会 | ◎南新町町内会 |
| ◎紫原一丁目親子会 | ◎紫原さくら会 | ○公園ビル会 |
| ◎紫雲会 | ◎紫友町内会 | ○紫会 |
| ◎三友会 | ◎紫原会 | ◎東紫原町内会 |
| ◎紫原平和会 | ◎紫桜会 | |
| ◎紫原ひかり会 | ◎紫原西町内会 | |

◎は連合町内会加入

文教施設

- ①紫原小学校
- ③紫原中学校
- ④志學館大学
- ⑤志學館中・高等部
- ⑥鹿児島純心女子短期大学
- ⑦鹿児島純心女子中・高等学校
- ⑧認定こども園紫原幼稚園
- ⑨認定こども園たちばな保育園
- ⑩鹿児島女子短期大学附属
かもめ幼稚園
- ⑪西本願寺紫原保育園
- ⑫わくわく紫原北保育園



社会教育・福祉施設

- ②紫原校区公民館
- ⑬紫原福祉館

公共機関・その他

- ⑭鹿児島南警察署
紫原交番
- ⑮鹿児島紫原一郵便局
- ⑯鹿児島テレビ放送
- ⑰甘藷試験地跡の碑

公園

- ⑱平和公園
- ⑲一本桜公園
- ⑳紫原中央公園
- ㉑むらさき公園

①紫原小学校



②紫原校区公民館



③紫原中学校



4 校区の風景（活動の様子）



校区納涼大会・子どもみこしパレード



青少年健全育成大会



登下校時の見守り活動

クリーン大作戦



校区大運動会



校区文化祭



社会教育講演会



女性学級(陶芸研修)



役員会

II 第1期のふりかえり（平成29年度～令和3年度）

1 第1期目標の成果と課題

《まちづくりの目標：スローガン》

「笑顔であいさつ心豊かな紫原 ～共に助け合い、みんなで作る安心安全なまち～」

◆ 成 果

- 事業実施にあたって、多くの校区民の方々に手伝いをいただいた。
- いろいろな行事に参加することで顔見知りになり、あいさつを交わすことができた。
- 「校区一斉声かけの日」を青少年健全育成大会で設定し、月1回、登下校時に声かけをするようにしている。
- 広報紙「パープルタウン」や「info カレンダー」の発行をとおして、校区内の様子やまちづくり協議会の活動の様子を伝えることができた。
- 青色パトロール隊の活動や防災研修会等をとおして、まちづくりに係わる人たちの防犯・防災意識が高まってきた。

◆ 課 題

- まちづくり協議会の存在そのものを承知していないのではないかと。周知が必要。
- まちづくりの活動について、その効果（達成感や完成度）を数値化し、推進状況を校区民の目に訴えられるような工夫がほしい。
- まちづくりに係わる人々の力が集まってきているように思えるが、まだ役員や関係団体役員だけの活動にとどまっている。多くの人に関心をもってもらい、より多くの人でまちづくりを支えていくことが必要である。
- 「みんなで作る」まちづくりのために、参加者をどのように集めるかが課題である。

2 各部会事業の反省・評価

紫原校区まちづくり協議会「第1期振興計画評価」

No.	事業名	担当部会	H29～R3 5年間評価	総合評価	継続・他
1	校区納涼大会 子どもみこしパレード	まちづくり 部会	H29～R1は実施。R2・3年度はコロナ禍で中止。校区民が、毎年楽しみにしている行事である。	A	継続
2	校区環境診断		診断内容が多岐にわたっており実施が難しかった。1内容1診断日などの工夫が必要。	C	継続
3	新春交流会		H29～R1は実施。R2・3年度はコロナ禍で中止。まちづくり活性化に必要な情報交換の場である。	A	継続
4	校区文化祭		H29・R1年度に実施。文化交流の場として好評。隔年開催から毎年開催へ検討。	A	継続

No.	事業名	担当部会	H29～R3 5年間評価	総合評価	継続・他	
5	校区民への防災意識の啓発事業	安心安全部会	年1回町内会単位で実施はしたが、内容が広く校区民へ伝わっていなかった。	B	継続	
6	危険箇所点検事業		年1回危険箇所点検を実施した。「防災マップ」は作成したが、校区民への周知が不十分。	C	継続	
7	災害弱者への地域支援対策事業		個人情報を得るのが難しく、要支援者名簿の作成ができなかった。	C	継続	
8	校区一斉声かけ運動事業		月1回の一斉声かけができたが、校区全体の取組にしていく必要がある。	A	継続	
9	防犯灯の充実と防犯カメラの設置		防犯灯設置は、適宜町内会で市に申請。防犯カメラはプライバシー問題もあり、設置できなかった。	C	廃止	
10	青パトによる防犯パトロール活動の強化		計画的にパトロールができた。活動の充実を図るために、パトロール隊員の増員が望まれる。	A	継続	
11	掲示板設置の推進		設置場所の確保などの設置基準が難しく、掲示板の設置に至らなかった。	C	廃止	
12	交通事故防止活動 (マイロードクリーン作戦)		多数の団体の協力で、通行箇所等の異物を取り除き、安心して通行することができた。	A	継続	
13	福祉に関する講演会 実技講習 支え合いマップ研修		福祉部会	コロナ禍で、実施できない活動があり、「支え合いマップ」も作成途中になっている。	C	継続
14	近隣の地域との交流研修			コロナ禍で実施できなかったが、今後積極的に取り組む。	C	継続
15	福祉関係の施設、活動研修	コロナ禍で実施できなかった。		C	継続	
16	「ふくしだより」の発行	年2回発行し、地域福祉の啓発に貢献している。		A	継続	

No.	事業名	担当部会	H29～R3 5年間評価	総合評価	継続・他
17	独居老人会給食会、高齢者クラブ連合会などへ支援・援助	福祉部会	コロナ禍以前は、人的支援や助成金等で支援ができた。	A	継続
18	登下校時の見守り活動		PTA や青少年部会と協力し、実施することができた。	A	継続
19	子育てサロンの開設 七夕まつりの開催		コロナ禍で開設できない月もあったが、子育て世代からは求められる事業である。	A	継続
20	運動の集い		校区高齢者クラブが中心となって、体操や踊りなどを行っているが、一部に限られている。	A	継続
21	研修交流		コロナ禍で実施できなかったが、福祉充実のために必要。	C	継続
22	健康教室 交通安全教室		高齢者クラブが主体となって計画したが、コロナ禍で実施できなかった。	C	継続
23	小学3年生とのふれあい活動		高齢者と小学3年生が、一緒に昔遊びをしたり、給食を食べたりしながら交流を深められた。	A	継続
24	各クラブ間の交流		校区内の高齢者クラブが、合同で活動することをおして、交流が図れ、情報交換ができた。	B	継続
25	一人暮らしの友愛訪問		一人暮らしの高齢者宅を訪問できたところもあった。訪問状況の確認が必要である。	C	継続
26	ふれあいサロンの開催		福祉館において、談話・歌・工作等を楽しむことができた。	A	継続
27	青少年健全育成大会	青少年部会	毎回ニーズに応じた講師の人選が好評。コロナ禍でも記念誌を発行し、健全育成に貢献している。	A	継続
28	校区レクリエーション大会		子供たちと地域の交流が図れており、大人からも楽しいとの感想が多い。	A	継続

No.	事業名	担当部会	H29～R3 5年間評価	総合評価	継続・他
29	校区大運動会	青少年部会	800名の参加があり、校区民は楽しみにしている。コロナ禍が続く場合は、人数等を調整して実施。	A	継続
30	妙円寺まいり		参加者が減少し、20名弱の参加になっている。広報を工夫し、子どもの参加者を増やしていく。	C	継続
31	グランドゴルフ大会		100名を超える参加があるが、子どもの参加が少ない。地域交流が図れる事業であるので充実を。	B	継続
32	クリーン競技大会		コロナ禍で実施できず。ゴミ拾いだけでなく、他の活動と組み合わせるなどの工夫が必要。	C	継続
33	資源回収		あいご会の資金源になっている。もう少し、子どもの参加を増やす手立てが必要。	A	継続
34	成人学級 女性学級の開設	社会教育部会	女性学級は、充実した内容でほぼ実施できた。成人学級は、学級生確保が課題。	A	継続
35	教育講演会の開催		毎年、タイムリーな講師を招聘し、充実した講演会ができた。	A	継続
36	「すぎなの会」・「おやじの会」との交流活動		紫原小バザーでの出店などで交流を図った。連携事業の数や内容の充実を図る必要がある。	B	継続
37	学校支援の充実		社会科見学引率や書道活動等に延べ300名程が参加している。登録者を増やすことが課題。	A	継続
38	広報紙発行	総務・広報部会	年3回発行の「パープルタウン」は、内容が充実。Infoカレンダーは休刊となったが、再開を検討。	B	継続
39	協議会構成団体の強化		コロナ禍で経済も逼迫する中、構成団体・広告協賛者ともに増強は難しかった。	C	継続
40	協議会活動基盤整備		財源確保のための事業はできなかった。今後の協議会活動推進のために、継続して検討する。	C	継続

Ⅲ 第2期まちづくりプラン

1 協議会の活動方針

- (1) 計画の期間 令和4年度～令和8年度（2022年度～2026年度）
 (2) まちづくりの目標

① スローガン

笑顔であいさつ心豊かな紫原

～ 共に助け合い、みんなで作る安心安全なまち ～

② 運営方針

ア 校区住民が、親和と協力の連帯意識をもって、校区の発展と生活環境の整備を図り地域住民総参加による住民が主体となった潤いと活力のある住みよいまちづくりを推進する。

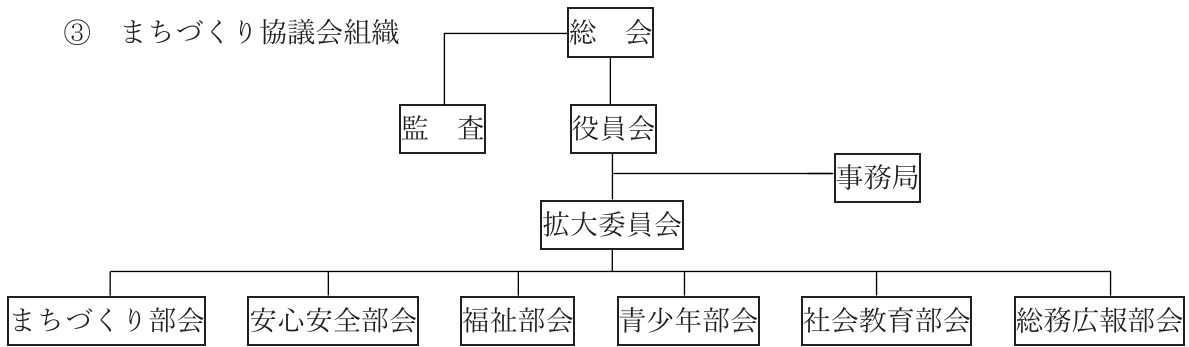
イ 子供たちをはじめ、住民みんなが夢や希望をもち、共に助けあいながら、楽しく生活し続けることを期待する個性豊かな地域づくりを推進する。

ウ みんなでつくる地域づくりを基本に、役割分担した部会の主体的・積極的な活動の充実に努める。

エ 各種構成団体との連携・協働を図り、効率的な事業推進に努める。

オ 地域の課題や地域づくりへの住民の声を大切にしまちづくりプラン（地域振興計画）をもとに、自助・共助による笑顔あふれるまちの実現をめざすとともに、関係行政との連携による活動（公助）の充実に努める。

③ まちづくり協議会組織



【構成団体】

校区連合町内会	紫原交番	西本願寺紫原保育園	紫原児童クラブ
校区あいご会	志學館大学	たちばな保育園	紫原第2児童クラブ
校区社会福祉協議会	紫原校区サポート会	わくわく紫原北保育園	女性学級
地区民生委員児童委員協議会	校区交通安全協会	校区防犯パトロール隊	成人学級
校区ネットワーク協議会	紫原消防団	校区高齢者クラブ連合会	すぎなの会（小学校）
紫原小学校 PTA	地域安全モニター	紫原福祉館	父親セミナー（中学校）
紫原中学校 PTA	かもめ幼稚園	紫原小学校	家庭教育学級（中学校）
紫原一郵便局	紫原幼稚園	紫原中学校	学校支援ボランティア
紫原第3児童クラブ	スポーツ推進委員		

2 活動の体系表

◎協議会が協力・連携等を行う事業

目標	部会名	基本方針	活動の内容	具体的な事業名
笑顔 であ いさ な 紫 原	まちづくり部	地域住民とのふれあいと共生・共助による活力あるまちづくり	○地域活性化活動 ○環境美化活動 ○ふれあい交流活動 ○文化交流活動	◎連合町内会支援事業 ・校区納涼大会 ・子どもみこしパレード ◎校区環境診断 ○新春交流会 ○校区文化祭
	安心安全部	地域活動に積極的に参加し、互いに連帯感を高め、地域力の育成・向上を図るまちづくり	○防災意識の啓発活動 ○災害危険箇所点検活動 ○災害弱者への地域支援推進活動 ○あいさつ運動の支援活動 ○犯罪未然防止活動 ○交通事故防止活動	○防災意識の啓発事業 ○自然災害危険箇所点検事業 ○災害弱者への地域支援対策事業 ○校区一斉声かけ運動事業 ○青パトによる防犯パトロール事業 ○交通事故防止対策事業
	福祉部	やさしさと思いやりで共に助け合い、支え合うまちづくり	○児童福祉活動 ○高齢者福祉活動 ○各福祉団体への支援活動 ○社会福祉協議会との連携活動 ○福祉館との連携活動	○登下校時の見守り ◎小学校3年生とのふれあい ○高齢者研修交流会 ◎独居老人給食会、高齢者クラブ等への支援 ◎社会福祉協議会主催事業等への支援 ◎福祉館主催事業等への支援
	青少年部	地域住民が青少年と交流を持つことで元気なあいさつが飛び交うまちづくり	○青少年健全育成活動 ○美化活動 ○あいご会活動 ○地域交流活動	○青少年健全育成大会 ○クリーン大作戦 ◎あいご会との連携事業 ・校区レクリエーション大会 ・校区大運動会 ・妙円寺まいり ・グラウンドゴルフ大会 ・資源回収 ○学校運営協議会連携事業
	社会教育部	地域の方々の知恵や特技を生かした生涯学習に取り組むまちづくり	○社会学級の開設と支援活動 ○PTA・地域の団体との交流活性化活動 ○学校支援活動	○成人学級・女性学級の開設 ○教育講演会の開催 ○「すぎなの会」「父親セミナー」等との交流 ○学校支援ボランティアの充実
	総務広報部	紫原の住民に必要とされる情報を発信し、協議会組織の強化によるまちづくり	○広報活動 ○協議会会員増強活動 ○自主財源確保活動	○広報紙発行 ○協議会構成団体等の加入促進 ○協議会活動基盤整備

3 紫原校区まちづくりプラン(振興計画)

(令和4年度～令和8年度)

番号	担当部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
1	まちづくり部	地域住民とのふれあいと共生・共助による活力あるまちづくり	地域活性化活動	連合町内会支援事業 ・校区納涼大会 ・子どもみこしパレード	年1回(7月)、平和公園において開催する。午前の部は、各町内会の「子どもみこし」が、町内をねり歩く。夜の部は、出演希望者・団体による演芸大会を行う。
2			環境美化活動	校区環境診断	年3回、校区内の巡視を行い、ごみ問題(犬、猫の糞害を含む)、空き家問題、道路問題について診断し、改善を図る。
3			ふれあい交流活動	新春交流会	毎年1月5日に、協議会構成団体及び校区内の各団体が一堂に会し、新春を祝うとともに、情報交換を行う。
4			文化交流活動	校区文化祭	年1回、紫原小体育館において、舞台発表や展示発表を行う。実行委員会を立ち上げ、企画運営を行う。
5	安心安全部	地域活動に積極的に参加し、互いに連帯感を高め、地域力の育成向上を図るまちづくり	防災意識の啓発活動	防災意識の啓発事業	年1回以上、町内会単位での防災訓練・研修を実施。また、校区全体の防災研修会等も年1回実施する。 流域面積約100haの雨水が校区内排水路1本へ集中排水される現状の危機意識を高める。
6			災害危険箇所点検活動	自然災害危険箇所点検事業	校区内の自然災害危険箇所を点検し、「防災マップ」を作成のうえ、年1回点検修正を行い、校区民に周知する。
7			災害弱者への地域支援推進活動	災害弱者への地域支援対策事業	災害弱者の意識調査と校区内の防災課題を把握し、支援対策を立てる。また、関係機関・団体と一体となって、日頃から共助体制の確立に向けた関係づくりをする。
8			あいさつ運動の支援活動	校区一斉声かけ運動事業	子供たちを含め、大人も日常生活の中で、あいさつや声かけが自然に行える環境づくりとして、「校区一斉声かけの日」を設定する。

事業効果	事業種別	事業実施年間評価					備考
		4	5	6	7	8	
全校区民が参加できるイベントを行うことにより、校区の結束力が高まる。	継続						
環境問題について、早期発見し、改善を図ることによって、安心安全なまちづくりができる。	継続						
協議会構成団体及び校区内の各団体の代表が一堂に会し、情報交換を行うことによって、校区の課題を探るとともに、まちづくりへの連携・協力体制の機運を高めることができる。	継続						
校区民の学習成果の場とするとともに、文化交流を図ることによって、校区民の文化意識の高揚を図ることができる。	改善						住民の要望に応じて隔年開催を年1回とする。
校区民の防災意識を高めるとともに、災害時に校区全体で助け合うシステムづくりができる。 将来的に排水路対策等の検討を行う環境づくりに資することになる。	改善						ハード面強化の意識を高める。
校区民が危険箇所を把握するとともに、災害時の安全確保のための行動を予測できる。	継続						
校区の災害弱者の実情を捉え、災害時の支援策を構築することで、災害弱者の不安を取り除くとともに、即時・適切な支援が可能となり、避難行動の迅速化が図られる。	継続						
校区全体で声かけやあいさつに取り組むことで、校区民の連帯意識（人を知る）を高めることができる。また、不審者対策にもなる。	継続						

紫原校区まちづくりプラン(振興計画)

(令和4年度～令和8年度)

番号	担当部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
9	安心安全部		犯罪未然防止活動	青パトによる防犯パトロール事業	青パトによるパトロール隊を編成し、経路や時間帯を設定し、校区内を定期的に巡回する。
10			交通事故防止活動	交通事故防止対策事業	校区内の関係機関や団体が一体となり、歩道上や軒先などの路上障害物を撤去する。 校区内の交通危険箇所を調査・点検し、規制等安全策を関係機関へ要望する。
11	福祉部	やさしさ と思いやり で共に助け 合い、支え 合うまちづ くり	児童福祉活動	登下校時の見守り	登下校時に、地域が一体となって児童生徒に声かけや見守り活動を行う。
12				小学校3年生とのふれあい	小学校3年生に昔の遊びや暮らしの様子を伝えたり、給食を一緒に食べたりしながら交流を図る。
13			高齢者福祉活動	高齢者研修交流会	高齢者福祉に関する研修会等を開催する。
14			各福祉団体への支援活動	独居老人給食会 高齢者クラブ等への支援	独居老人給食会の開催や高齢者クラブの活動等に対して、支援活動を行う。
15			社会福祉協議会との連携活動	社会福祉協議会主催事業等への支援	社会福祉協議会主催の事業に対して、支援活動を行う。
16			福祉館との連携活動	福祉館主催事業等への支援	福祉館主催の事業に対して、支援活動を行う。

事業効果	事業種別	事業実施年間評価					備考
		4	5	6	7	8	
青パトで、定期的に校区内を広範囲にパトロールすることによって、子供たちを事故や犯罪から守り、住民の犯罪防止の意識啓発につながる。	継続						
路上の障害物の除去により、高齢者や子どもをはじめ、校区民が安心して日常生活が送れる環境整備が図られる。また、交通量の調整と減速効果が期待できる。	改善						諸機関との連携強化
登下校時の声かけを中心とした見守り活動をとおして、児童生徒の安全確保とともに、住民の一体感がうまれる。	継続						
子供たちにとっては、昔の生活の様子を知る機会となる。高齢者にとっては、元気・活力をもらう場となり、生きがいくりになる。	継続						
高齢者が集い合い、楽しく元気な交流活動の場ができる。	新規						
独居老人を含む高齢者への支援を行うことによって、誰もが住みやすいまちづくりの推進が図れる。	継続						
社会福祉協議会主催の事業等について、支援活動を行うことをとおして、校区全体の福祉に関する関心を高めるとともに、事業の充実に寄与することができる。	継続						
福祉館主催の事業等について支援活動を行うことをとおして、福祉館の活用促進に寄与することができる。	継続						

紫原校区まちづくりプラン(振興計画)

(令和4年度～令和8年度)

番号	担当部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
17	青少年部	地域住民が青少年との交流を持つことで元気なあいさが飛び交うまちづくり	青少年健全育成活動	青少年健全育成大会	年1回開催。青少年健全育成のため、地域全体で何ができるか、何をすればよいのかなどをテーマに講演会を開催したり、実践活動を行ったりする。
18			美化活動	クリーン大作戦	年3回開催。親子を中心に、校区全体で、ウォーキングやスタンプラリーを楽しみながら、校区内のゴミ拾いをする。
19			あいご会活動	あいご会との連携事業	〈校区レクリエーション大会〉 小学生のドッジボール大会と、小学生と大人のソフトバレーボール大会を、年1回(6月)に開催する。
					〈校区大運動会〉 校区(全町内会員)参加の運動会で、隔年1回(10月)開催する。町内会対抗で行う。
					〈妙円寺まいり〉 あいご会が中心となって企画・運営する。紫原小から徳重神社(日置市)まで歩く。(約2.4km)
20	資源回収	あいご会が中心となって、アルミ缶、ビン類、紙等の資源回収を行う。年2回～3回実施し、あいご会の活動資金とする。			
21	地域交流活動	学校運営協議会(コミュニティースクール)連携事業	地域生徒会と地域が連携し、美化活動や資源回収活動等を企画・実施する。		

事業効果	事業種別	事業実施年間評価					備考
		4	5	6	7	8	
体験発表や有識者等の講演会をとおして、すぐに実行できることやこれから何をやるかなどを考える機会となり、地域全体で青少年を育てる機運を高めることができる。	継続						
親子を中心に、校区民がウォーキングやスタンプラリーを楽しみながらゴミ拾いを行うことをとおして、美化活動の意義と楽しさを味わわせることができる。	継続						
スポーツをとおして、町内の子ども会員相互の親睦を深めるとともに、校区民と子供たちの交流を深めることができる。	継続						
紫原校区20町内会員や子ども会員が一堂に会し、町内会対抗で競技することをとおして、校区民の交流の和を広げ、町内会員の絆を深めることができる。	継続						
約24kmの行程を、安全に気をつけながら歩きとおすことで、仲間同士での気遣いや励ましを学び、参加者間の親睦を深めることができる。	継続						
老若男女が参加し、世代間を超えて親睦を深めることができる。また、顔見知りが増えることで、校区民に一体感と安心感をもたらすことができる。	継続						
資源の大事さを学ぶとともに、資源の提供や回収作業をとおして感謝の気持ちを伝え合うことができ、校区民のあいさつ運動に繋がることが期待できる。	継続						
中学生と地域住民が連携し、地域貢献活動を企画・実施することをとおして、世代間交流を推進するとともに、地域が一体となってまちづくりに取り組む機運を高めることができる。	新規						

紫原校区まちづくりプラン(振興計画)

(令和4年度～令和8年度)

番号	担当部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
22	社会教育部	地域の 方々の知恵 や特技を生 かした生涯 学習に取り 組むまちづ くり	社会学級の開 設と支援活動	成人学級・ 女性学級の開設	成人学級は成人男女、女性学級は 成人女性を対象とし、社会生活に必 要な教養や資質の向上を図れる講座 を開設する。
23				教育講演会の 開催	成人学級生・女性学級生を中心に 「教育講演会」を年1回開催する。
24			PTA・地域 の団体との交 流活性化活動	「すぎなの会」 「父親セミナー」等との交流	PTAや地域の団体と連携し、ス ポーツ講座等を開催したり、紫原小 バザーにおいて出店したりする。
25			学校支援活動	学校支援ボラン ティアの充実	学校支援ボランティアに登録し、 人生の中で培った学習成果(知識・ 技能)を学校教育活動へボランティ アとして生かす。
26	総務広報部	紫原の住 民に必要と される情報 を発信し、 協議会組織 の強化によ るまちづく り	広報活動	広報紙発行	広報紙「パープルタウン」を、年 3回発行する。
27			協議会会員 増強活動	協議会構成団体 等の加入促進	協議会の横断幕や幟旗の作成・設 置等により、構成団体等の加入促進 を図る活動を推進する。
28			自主財源確保 活動	協議会活動基盤 整備	協議会活動に必要な自主財源確保 のための計画を立案し、実践する。

事業効果	事業種別	事業実施年間評価					備考
		4	5	6	7	8	
社会教育上の様々な課題について学習し、必要な教育や知識・技能を習得するとともに、その成果をまちづくりに生かすことができる。	継続						家庭教育学級、父親セミナー等との連携
教育講演会を開催することによって、校区民の教育力の向上を図ることができる。また、獲得した知識を活用したまちづくりへの寄与が期待できる。	継続						
まちづくり協議会の諸活動において、PTAや地域の団体と交流を図ることによって、双方の活動内容に変化をもたせ、活性化を図ることができる。	継続						
学校支援ボランティアの活動をとおして、共に学び育ち生きていく地域づくりに貢献できる。	継続						地域支援ボランティアコーディネーターとの連携
校区の様子（活動等）や協議会の取組を広報することにより、協議会の活動の周知を図るとともに、協議会への関心を持たせることができる。	継続						
個人や団体を含め、協議会の会員を増やしていく活動をとおして、協議会への理解を深め、協議会の活動を充実させることができる。	継続						
活動資金を調達することによって、協議会の活動内容の拡充が図れる。	継続						

IV 資料

1 第2期まちづくりプラン策定委員

令和2年度・3年度の拡大委員会委員を策定委員とした。

清水 昌子	会長	福司山美穂子	社会教育部会部長
清岡 修身	副会長	安間 一平	社会教育部会副部長
森 昭男	副会長	丸峯 正史	総務広報部会部長
上園 和行	副会長	安藤 秀樹	総務広報部会副部長
若松 正幸	まちづくり部会部長	中馬里美子	書記・会計
前田 怜子	まちづくり部会副部長	高風 哲仁	紫原小学校長
田中 貫三	安心安全部会部長	立部 剛	紫原中学校長
上園 和行	安心安全部会副部長	田中 智治	紫原地域コーディネーター
今東 映子	福祉部会部長	近藤 諭	志學館大学
田中智恵子	福祉部会副部長	宗 建郎	志學館大学
竹之内哲義	青少年部会部長	小玉妹美子	事務局職員
吉田 祐司	青少年部会副部長		



【 さくらちゃん 】

紫原小学校卒業生のオリジナルデザインです。
紫原校区まちづくり協議会のマスコットキャラクターとして、
広報紙「パープルタウン」や横断幕にも掲載して、まちづく
り協議会のあらゆる活動で広く活用していきます。

2. 住民意識調査 ～これからの紫原校区の未来を創るためのアンケート～

(一部抜粋)

基本情報

小学校家族	中学校家族	町内会	合計
189	177	265	631

年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
3	6	145	272	72	59	46	27	1

紫原に住んだきっかけ・居住年数

自分が生まれ育ったところ	配偶者が生まれ育ったところ	新たな居住地として	その他	0～3年	4～10年	11～20年	21～30年	31年以上
113	80	360	74	65	154	228	76	106

①校区の環境について（回答数の上位について記載）

紫原の良いところは？

1.店や交通などの利便性	493
2.出身地または、古くからの知り合いが多い	109
3.地域の人の声かけや見守りがある	105

校区や町内会の活性化に必要なことは？

1.若い人や転勤族が参加しやすくする	185
2.情報の提供や広報	162
3.イベントや行事の見直しや工夫	131

校区や町内会の広報紙や回覧板、掲示版などを見ていますか？

1.たまに見ている	279
2.しっかり見ている	219
3.（見る機会はあるが）ほとんど見ていない	56

見る機会が多いのは？

1. 回覧板（414）、2. 広報紙（234）、3. 掲示版（153）

校区や町内会の行事に参加したことはありますか？

はい	476
いいえ	144

参加したきっかけは何ですか？

1.地域の役員になったので	246
2.町内会の集まりで聞いた	138

「校区や町内会の行事や活動内容」はご存じでしたか

はい	164
いいえ	78

参加していない理由は何ですか？

1.時間が合わない	26
2.仕事や子育て、介護に忙しい	23

校区や町内会の環境問題で気になることは？

交通量の多さや交通マナーの悪さ、危険を感じる	242
ごみステーションについて	189
犬猫の糞害	133
放置空き家	61

ご近所つきあいについて

	困ったときに相談・助け合う	災害の時に助け合う	病気や健康、介護などの緊急時に助け合う	あいさつができる
大切だと思うこと	337	436	237	452
今の自分にあてはまるもの	126	81	65	314

※「大切だと思うこと」の上位について記載。「大切だと思うこと」と「今の自分にあてはまるもの」の差が大きい中、「あいさつ」については多くの方が取り組んでいる。また、差の大きいものに関しては、それぞれの個人に問題があるわけではなく、「地域の取組としての課題」としてとらえたい。

②安心安全について（複数回答あり）

日頃、不安に思うことは何ですか？

【災害】

地震	桜島の噴火	大雨による水害	地すべり	台風	火災
386	161	100	72	334	208

【日常】

空き巣	不審者	子供への犯罪	高齢者への犯罪	性犯罪	交通事故	騒音
193	374	350	88	131	391	69

防犯防災に関して今後充実してほしい

防犯灯	防犯パトロール	交通安全教室	防犯訓練	防災訓練
232	189	52	73	101

危険箇所マップ	子ども110番の家	情報の提供	各種講習会	AEDの設置	防犯カメラ
113	127	180	29	119	324

現在対応できている対策

防犯灯	防犯パトロール	交通安全教室	防犯訓練	防災訓練
159	144	60	27	51

危険箇所マップ	子ども110番の家	情報の提供	各種講習会	AEDの設置	防犯カメラ
105	148	63	25	11	11

③福祉について（複数回答あり）

日頃どのような悩みや不安がありますか？

自分や家族の健康・病気	家族の介護	老後の生活	子育て・教育	家族親族との人間関係	地域や近所との人間関係	特にない
261	79	126	245	29	48	153

どなたに相談しますか

家族や親族	友人・知人	近所の人	町内会長（班長など）	民生委員・児童委員	職場の人	学校の先生	公的機関	病院・介護事務所
479	334	43	9	4	117	51	26	39

日頃、健康づくり・体力づくりのために何かしていますか？

散歩	ジョギング	スポーツクラブ	同好会サークル	ラジオ体操	健康器具（自宅）	各種イベント参加	禁酒禁煙など	何もしていない
172	27	41	41	31	70	9	48	277

校区や町内会にあつたらいいなと思うものは？

高齢者を対象にした見守り活動	趣味や特技などを通じて多くの人と触れ合う機会	健康づくりや介護予防の講習会	教養講座や文化的行事	社会奉仕ボランティア活動	悩み相談サービス	地域の人たちと気軽に交流できる場所（サロン）
158	133	98	90	46	60	92

65歳以上の方のみ回答

これから先の生活で不安に思うことは何ですか？

自分や配偶者の健康や病気	自分や配偶者の介護が必要になること	自分や配偶者が認知症になること	家族や親族との人間関係	近所友人などとのつき合い	自分の面倒を見てくれる人がいなくなり、一人暮らしになること	だまされたり犯罪に巻き込まれること	不安はない
89	50	54	12	7	17	16	15

④社会教育について

校区の社会学級の中で知っているものはありますか？

また、参加してみたいものはありますか？

知っている

成人学級	女性学級	家庭教育学級	父親セミナー	すぎなの会	知らない
114	250	348	112	389	127

参加してみたい社会学級

成人学級	女性学級	家庭教育学級	父親セミナー	すぎなの会
18	42	49	2	7

校区でどのような講座があったら参加したいと思いますか？

パソコン	料理	習字	英会話など 外国語	体操・ヨガ	郷土の歴史
150	169	106	98	222	53

講座などのお知らせの方法はどのようなものが良いと思いますか？

町内会の 回覧板	校区の店舗等 の掲示板	新聞等の 折り込み チラシ
336	155	175

⑤青少年育成について

日頃校区の子供たちと、どの程度かわりをもっていますか？

あいさつや 声をよく かけている	たまに あいさつする 程度	悪いことを していたら 注意する	行事で顔を 合わす程度	ほとんど ふれあうこと はない
206	299	71	32	77

青少年健全育成のために協力したいことはありますか？

あいさつや 声かけ	見守り活動	行事への参加	悪いことへの 注意	相談相手	昔遊びを 教える	学校支援 ボランティア	青少年健全 育成大会参加	協力したいと 思わない
407	156	119	84	31	7	49	42	51

次の行事に参加したことはありますか？

球技大会 (ドッチボール・バレー ボール)	妙円寺まいり	校区運動会	資源回収	グランド ゴルフ大会	青少年健全 育成大会	学校支援 ボランティア	参加したこと はない
165	40	263	411	62	182	90	109

青少年問題で気になることは？

いじめ	不登校	夜間徘徊	ひきこもり	暴力行為	非行の 低年齢化	未成年の 飲酒・喫煙	インターネット やスマホによる トラブル	言葉づかい
386	226	72	125	94	71	50	368	172

その問題は何が原因だと思えますか？

家庭の しつけや教育	核家族化	少子化	共働き	地域との関係 の希薄化	自然や社会の 体験不足	対人関係能力
284	102	41	94	99	81	159

テレビ・ゲームの 影響	インターネット・ スマホが気軽に 使用できる環境	学校教育	モラルの低下	青少年育成への 無関心	成人向け雑誌 や有害情報	社会・経済の 変化
235	316	55	117	22	33	63

紫原の子供たちが、
どのように育ってほしいと思いますか？

思いやりがある	言動に責任をもって行動する	友人関係を大切に	国際感覚をもち世界に貢献できる	地域に誇りをもち郷土を愛する	生きる力を備え自立する	マナーや社会のルールを守る	がまん強い
440	264	292	65	114	236	398	89

紫原の子供たちに「まちづくり」について関心を持ってもらうには
どうしたらよいか？

学校と連携をはかる (密にする)	子どもたちに積極的に意見を聞く	町内会等を通じて情報の収集や発信する	「子どもたちのまちづくり委員会(仮)」などを設置する
333	234	103	74

あなたのまちの「まちづくり協議会」を知っていますか？

はい	いいえ
231	335

ご回答をいただきました約6割の方に「まちづくり協議会」が知られていないという状況でした。

今回のアンケートは、町内会役員の皆さまや小中学校のご家族を中心に実施いたしましたので、町内会や学校関連行事に触れる機会の少ない方々には「まちづくり協議会」の認知度はさらに低い状況にあると思われます。

今後も、地域を盛り上げ、より良く住みやすい街をつくっていくために「まちづくり協議会」の活動内容のあり方等について、広く知っていただく取組を進めてまいります。